

# 「最近の若者達の心の問題」で 学生相談室の桐山助教授が講演

大学教育研究センターFD部会の主催で、講師に学生相談室の桐山雅子助教授を迎え「最近の若者達の心の問題」と題する講演会が12月13日開かれた。会場となったりサーチセンター大会議室には100人近い教職員がつめかけ満員となった。講演に先立ち、飯吉厚夫学長が講師紹介とこの講演会の持つ意義についてあいさつを行った。

桐山助教授は講演の中でまず、現在の大学生の抱



えている問題点をいくつかの角度から取り上げて具体例を示しながら分析し、その根幹に学生を取り巻く社会的環境、とりわけ家庭環境に問題があるとした。大学生といえ、かつては一人前の大人と見られていたものが、知的能力は上がってはいるが、社会性や自分らしさが育っていないことが指摘された。

そして、相談室から見た心の問題として、情緒が育っていないこと、実体験の乏しさ、要するに無駄を体験していないこと、コミュニケーション能力の低下、4年生になってもやりたいことが見つからないなど将来像が描けないこと等を挙げた。

最後に、学生を理解するための教職員の問題意識として、学生とつきあうのにマニュアルは無いこと、学生の立場に立つこと、様々な問題で知らないことや未体験のことについては教えることが必要なこと、信じて接していれば時間はかかるが必ず輝いてくること、学生がすごい力を持っていることをこの大学で教えられたこと、教職員を交えての飲み会や合宿のような行事が学生の発達促進に役立つこと、などを明らかにし、講演を終えた。

この後の質疑応答で、欠席学生の対策にもっと組織的に取り組むべきだとか、教員へのカウンセリングシステムを確立すべきだ、などの意見が出された。